

寺尾第二地区 社会福祉協議会だより

NO.57

【発行】 2026年4月 寺尾第二地区社会福祉協議会 会長 宮野 昌夫

3月29日(日)、「第3回せせらぎ祭り」を開催しました。先始めた桜のもと、大勢の方にご来場いただきました。今回は、地域の方々や民生委員、婦人部、保健活動推進員のハンドメイドコーナーを充実させ、心のこもった作品がたくさん並びました。また、ステージ発表や展示コーナーも設けて、日ごろの成果を多くの方に楽しんでいただきました。

ハンドメイド販売



開始と同時に、大勢の方が手作りコーナーにいらして下さり、大賑わい(#^.^#)



民生委員の手作りバックは、大人気！次々とお購入いただき一生懸命に縫った甲斐がありました。心を込めて編んだ布ぞうりも多くの方に喜んでいただきました。



地域の方にもたくさんの品をご提供いただきました。

第3回 せせらぎ祭り



販売

炊き込みご飯は、具材の旨味がご飯に染み込み、ほっとする味に仕上がりました。お土産に大勢の方がお買い求めくださいました。

ホッカホカ
良い香り



新鮮野菜と花苗は、あっという間に売り切れ大盛況でした!!

喫茶

美味しいケーキと温かい飲み物でホッと一息!



展示・ステージ

フラワーアレンジメント



絵手紙



アコーディオン伴奏で
歌声広場



フラ・レイマカマエの
皆さま



今回の収益金 **189,692** 円は、寺尾第二地区社会福祉協議会の独自財源として、地域福祉の為の活動資金に充てさせていただきます。ご協力いただきました皆さまに、心より御礼申し上げます。



福祉保健講座第三講

今から始める食習慣 一食で育む親子の絆

2月26日(木)、幼少期の食習慣を楽しく学べる食育講座を開催しました。寺尾第二地区のヘルスマイトさんに、子どもの成長に大切な栄養や、親子で食べ物に親しむアイデアについて、わかりやすく講義していただきました。最後に、ヘルスマイトさんによる簡単おすすめメニューを全員で戴きました。



講座の間、お子さんはキッズスペースで。見守りスタッフがいるので安心！

食事（主食・副菜・主菜）を中心に、水分・お菓子・運動も絡めたバランスが大切だということ学びました。

食事量の目安は手のひらで！
大人も子どもも主菜、副菜（加熱野菜）は手のひらサイズ。副菜（生野菜）は両手のサイズ。

親子一緒の“野菜のお話コーナー”もありました。本物の大きな大根・人参・ゴボウを見て子供たちは興味津々の様子でした。その後、その三つのお野菜が、みんなで食べたけんちん汁に、美味しくなって入っていました♡



◆今回の簡単おすすめメニュー（2人分）◆

おかかチーズおにぎり

ご飯(茶碗2杯)が熱いうちに、鰹節、チーズ、ごま、めんつゆ(ストレート大さじ1)を混ぜて握る(1~2歳は棒状もオススメ☆)

鶏のマーマレード煮

鶏モモ肉2枚の皮を剥ぎ、一口大に切る。マーマレード、醤油、酒各大さじ2を鍋に入れ、鶏肉を入れて中火で15分煮込む。

けんちん汁

人参50g 大根50g ごぼう30gを薄めに切り、水250ccで煮込む。火が通ったら、鶏皮1枚分と白だし10cc、食べやすくちぎった木綿豆腐1/3丁を入れ、しっかり煮込む。

ひなまつりゼリー

かんてんばば3種を、一層ずつ冷ましてから流し入れる

ポイント2
ひな祭りゼリーはひと手間で季節感



ポイント1
鶏皮を捨てずにコク出しに利用



みんなでモグモグ おいしいね！

～ 参加された皆さんの声 ～

- ・目安の考え方、すごく良かったです。参考になりました！
- ・お肉が苦手な娘が、鶏肉をたくさん食べたので、おうちでも作ってみます
- ・野菜そのままの味がとてもおいしかったので、家でも作ってみたいです
- ・薄味でもこんなに美味しくなるなんて驚きました
- ・ゼリーがかわいかったです
- ・子どもをキッズスペースで見守って下さり、久しぶりにじっくり学ぶことができました



参加した皆様へ
お土産のお豆

障がいの理解講座

～気になる子の理解とかかわり方～



スマホ育児、チャット GPT が相談相手という現代子育ての中、お子さんの心身の発達が気になるという悩みを抱えている親御さんが増えています

横浜市東部地域療育センターのソーシャルワーカー、柳田めぐみさんが「気になる子の理解とかかわり方」について講演してくださいました。

*彼らのつまずきを理解する

乳幼児期は「子どもが大人に理解される」体験が何よりも大切であり、安心できる関係づくりが子どもの心を育てる。生活に支障をきたしている困難＝発達障がいの特性は適切に関わり育てていくことでつまずきが気にならなくなるくらい成長する。

*効果的にやるべきことを伝える

「〇〇しなさい」「だめ」を使わず、肯定的な言葉で本人に何をすればいいかわかりやすく伝える。失敗させて教えるではなく、できたことを褒め、成功から学んでもらう。「すべてできたら褒める」でなく、25%できたら褒める“25%ルール”を意識する

*親は「こうあるべき」と考えすぎない

親だって失敗することもある。反省・成長を繰り返しながら、自分でできることをできる範囲でやる子どもは親が褒めるが、大人は自分で自分を褒める工夫が必要。

～ほどよい親でいきましょう～
Good Enough Mother

柳田めぐみさん提供資料より-抜粋

認知症サポーター養成講座

～基礎編～

1月30日(金)寺尾地区センターにおいて、認知症サポーター養成講座～基礎編～がありました。

キャラバンメイトの八木さんの講話は、新しくなったテキストを使用した講座となりました。これまでは、「認知症とは何か」「その症状とは・・・」といった概念的なものから学んでいきましたが、今回のテキストは、“認知症”を「他人ごとではない自分ごと」としてとらえることから始まります。認知症は怖いもの、認知症になるとなにもわからなくなるのではないこと。認知症である本人が誰よりも先に変化を感じ、もっとも不安な気持ちであることを理解することから始まります。

早期発見、早期治療あるいは周囲の人たちのかかわり方によって、症状の進み方を遅らせたり、改善したりすることも可能です。そして、そのことを正しく理解することが大切です。最近では、認知症になっても、自分らしい生き方を続けていらっしゃる方が大勢いらっしゃいます。

その後、認知症になった高齢者のいる家族の日常が克明に描かれたDVDを視聴しました。参加された方々も感銘を受けました。



キャラバンメイトの話を熱心に受講

鶴見・あいねっと 第5期計画（令和8年～令和12年度）

キャッチフレーズ みんなの思いや 心が見える まちづくり

1. 思いやりや 心づかいを行動に移して つながるまちに
 - ① 地域の子どもの声を聞き、取り組みを実現する
 - ② 多世代交流会を開催し、子どもたちを地域で見守り育てる
 - ③ 地域の見守り活動を、一人ひとりに知ってもらう
2. お互いに認めあい 支えあいながら 地域力を高めよう
 - ① 世代を超えた連携で、防災意識を高める
 - ② 多世代交流を通じて、安全で安心して暮らせる私たちのまちに
 - ③ 障がいを理解し、誰もが暮らしやすいまちに

*キャッチフレーズは、小・中学生と共有しています

第2回 LCT！開会式



子どもたちの
思いを実現！



はな♥そうカフェ

2026年度 年間計画

皆さまの集いの場(サロンせせらぎ・バンビ・学んでご飯・はな♡そうカフェ)の
2026年度の年間計画です。全ての居場所は参加費無料です。
多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

サロンせせらぎ

場 所 馬場地域ケアプラザ2F 多目的ホール
日 時 毎月 第3木曜日 10:00~11:30
対 象 地域にお住まいの主にご高齢の方

4月16日	交流会	10月15日	健康体操&脳トレ
5月21日	若返りの 音楽レクリエーション	11月19日	クリスマス工作
6月18日	七夕飾り&盆踊り	12月17日	ミュージックベル演奏
7月16日	ハワイアンバンド	2月18日	消費生活講座& おしゃれ工作
9月17日	お楽しみクイズ大会	3月18日	フルーツ・オーボエ ピアノ演奏



バンビ

場 所 馬場地域ケアプラザ2F 多目的ホール
日 時 毎月 第3火曜日 10:00~11:30
対 象 未就園のお子さんと子育て中の方

4月21日	こいのぼり作り	10月20日	ハロウィン
5月19日	小麦粉粘土遊び	11月17日	クリスマス飾り作り
6月16日	新聞紙遊び	12月15日	クリスマス会
7月21日	プール遊び	2月16日	おひなさま作り
9月15日	絵本を楽しもう	3月16日	お楽しみ会

学んでご飯

多世代交流会

はな♡そうカフェ



偶数月 第3金曜日
17:00~18:30

場 所 馬場地域ケアプラザ
2F 多目的ホール

奇数月 第3金曜日
15:00~17:00



小(高学年)・中学生が対象です

どなたでも参加できます

4月17日	ハヤシライス	10月16日	秋味ご飯
6月19日	煮込み ハンバーグ	12月18日	ホワイト シチュー
8月21日	カレーライス	2月19日	ちらし寿司

5月15日	11月20日
7月17日	1月15日
9月18日	3月19日

食材(お米や野菜など)のご寄付
くださる方もお待ちしております♡

・ゲームコーナー ・手芸ルーム ・カフェルーム
・フリールーム(読書、工作、自習など)

同時に遊水地を開放します